

令和7年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会 摘録

- 1 日時 令和8年3月5日(木) 14時～15時30分
- 2 場所 オンライン会議(宮前区役所4階 大会議室)
- 3 出席者 亀谷委員 阿部委員 山木委員 八廣委員 鈴木委員 榎本委員 梶山委員 朝倉委員
地域みまもり支援センター 長井所長(福祉事務所長)
地域みまもり支援センター 津田副所長(保健所支所長)
地域みまもり支援センター 小林地域支援課長
(事務局) 地域みまもり支援センター 山田高齢・障害課長
高齢・障害課高齢者支援係 堀課長補佐、高橋主任、金子主任、橋本職員

【事前配布資料】

資料1

令和7年度宮前区課題整理シート

資料2

令和7年度地域包括支援センター運営状況確認シート

- ①みかど荘 ②鷺ヶ峯 ③富士見プラザ ④レストア川崎
⑤フレンド神木 ⑥宮前平 ⑦ビオラ宮崎

参考資料

- ・委員名簿
- ・川崎市地域包括支援センター運営協議会規則
- ・川崎市審議会等の会議の公開に関する条例
- ・エリア図

4 開会

- (1) 開会挨拶(長井福祉事務所長)
- (2) 運営協議会に関する了解事項等の確認
- ・委員の過半数の出席により会の成立
 - ・傍聴人なし
 - ・録音の了承
- (3) 委員出席者紹介
- (4) 行政職員紹介

【亀谷会長挨拶】

亀谷会長：誰もが住み慣れた地域や自らの望む場で安心して暮らし続けられる地域を実現するために、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの構築を目指す、その施策の一環としての協議会。活発かつ前向きな討論を望む。

運営協議会議事

亀谷会長：議事の1つ目は宮前区課題整理シートの報告について、事務局から説明をお願いしたい。

堀課長補佐：資料1 宮前区課題整理シートについて、1回目の会議で報告した課題や今年度の取組予定事項に対してその結果について報告する。
なお、各地域包括支援センターの活動については資料2の令和7年度地域包括支援センター運営状況確認シートで報告するため、資料1では主に行政側、または包括等と協力して取り組んだ内容について説明する。

(1) 令和7年度宮前区の課題への取組状況について

(ア) 宮前区整理課題シート（報告）

（橋本職員）＊資料1に基づき説明

亀谷会長：事務局から宮前区課題整理シートについて報告いただいた。各委員より追加の質問はあるか。

（挙手なし）

亀谷会長：議長の私から。

資料を読んで、全体的に地域包括支援センターの仕事をしている時に欠けていることがあり、それは法整備と保険である。職員のボランティアや、頑張りで何とかしているようなところがみられる。

例えば虐待だと、子供の虐待について欧米などはすぐに家庭裁判所が入ってストップするという権限がある。これは高齢者虐待の際にもそのような権限がないと、なかなか本質にたどり着けないのではないか。そのため法整備は区のレベルではなかなか難しいことから、市へ提言し、行政から国に話をしてもらう必要があると考える。

また、認知機能低下の予防ということで体操やウォーキングなど様々な地区で取組がなされている。その最中に怪我をする人が出た場合、もちろん医

療機関に來られればケアをするけれども、その時に隣接していた人はどうだったのか？見ていたのか？誰の責任か？というようなことになると、せっかく取り組んでくれている人たちが困ってしまう。そのため何か区から市へと取り組むことが出来るのかと考えた。他、委員から質問はあるか？

(挙手なし)

亀谷会長：では続いて2点目、センターの取り組み状況に関する意見ということで、事務局より説明していただく。

(イ) センター取組状況に関する意見

地域包括支援センター運営状況確認シート「5 センターの取組状況」
(地区担当) *資料2に基づき説明

6 審議

亀谷会長：事務局より説明があったように、地域包括支援センター運営状況確認シートの6「区地域包括支援センター運営協議会からの意見等」について、各委員より意見を伺いたいと思うが、どなたか意見はあるか？
ちなみに、この意見は協議会が終了してから各委員が事務局へメールする形なのか？

堀課長補佐：一旦こちらで議論いただいた内容を改めて形にする。その上で、各委員には最終的にこのような内容でどうかと伺ってからの提出を考えている。

亀谷会長：ということは、この場で各地域包括支援センターの6番について、各委員から意見をいただきたいということか？

堀課長補佐：その通り。運営状況確認シートの6には既に案として意見を記載しているが、それに対して追加することや大まかにこれでいいのではないかというような意見をいただきたい。

亀谷会長：それでは各センターについて、1つ1つ目を通すので、プラスアルファがある委員は意見を、特になければそのままということになるがよろしいか？
それではシートの順番に従って、
まずは、みかど荘地域包括支援センターの働きについて、事務局からの案を

もとに運営協議会からの意見はあるか？

朝倉委員：事前に質問用紙を事務局に送付しており、おおむね答えをいただいた。この6番のところは多分1つ1つやっていくのだろうと思っており、みかど荘地域包括支援センターでは職員不足の中で、それなりのことをやっているといったコメントが必要なのではないかと考えた。

堀課長補佐：事前に朝倉委員から3番の組織マネジメント、運営状況の配置人数のところでは要因不足へのコメントが必要なのではないかと意見を頂いている。

亀谷会長：この事業を受託している法人の実情はあると思うが、基本的には定員数というものは住民の人数から割り出して決まっているので、この申し入れを文言に含むのは当然だと考え、意見に載せていくこととする。
他に何か意見はあるか？それでは、みかど荘については、配置人数についての文言を入れるということで次に進む。

鷲ヶ峯地域包括支援センターについて意見はあるか？ここも高齢化率の高い地域で頑張っているということで、特に意見がなければ次に進む。

次は富士見プラザ地域包括支援センターになるが意見はあるか？

朝倉委員：よろしいか？意見書の誤字があるので修正していただきたい。
また、意見書にある介護保険サービス未済という言葉は一般的なのか？福祉業界の中では一般的な言葉かもしれないが、市民の立場からすると未済という言葉遣いが気になった。

亀谷会長：ご指摘感謝する。介護サービス未済という言葉は一般的ではないように思われるため、文言を考え誤字は修正する。

次にレストア川崎地域包括支援センターへの意見はいかがか？ここはエリアによって高齢化率のばらつきがあるということだが、そのような地域の特性について何か意見はあるか？

朝倉委員：ここはマンション地区の問題で苦労されていると思うので、好事例的な内容をもっと発信して欲しい。地区との繋がりという意味ではマンションの中というのはなかなか入りにくいところのため、そのあたりへの期待感を出せな

いか意見させていただきたい。

亀谷会長：レストア川崎地域包括支援センターと地域包括支援センタービオラ宮崎は駅を抱えていてニューファミリーが多いということもあるのでそれなりの難しさがあるのだろうと考える。こちらも運営協議会からの意見として、シートに載せさせていただく。

他に意見はあるか？

(八廣委員挙手)

亀谷会長：では八廣委員どうぞ。音声はこちらに届いていない。

申し訳ないが音声聞こえないため、先に進むことにする。

次にフレンド神木地域包括支援センターについて、案として載せていること以外に運営協議会から追加はあるか？

意見がないため次に進む。

次は宮前平地域包括支援センターについて運営協議会からの意見はあるか？
ここも先ほどの報告であったように、若手が多くて地域活動の担い手が少ないということが案に記載されているため追加なしということで良いか。

(異議なし)

亀谷会長：では最後に地域包括支援センタービオラ宮崎の意見はいかがか？

朝倉委員：意見案のコメントが防災だけというのがどうかと疑問に思っている。もちろん防災は重要な取組であり、ビオラ宮崎が掲げる基本目標の一番にあげられているため、それ自体は問題ない。しかし地域包括支援センターの普段の仕事において災害発生時というのはどちらかというとイレギュラーな話になってくる。そのため追加分として書くにはいいが、メインで書く意見としては基本目標の②にある「地域アセスメントの実施」に関わっている部分について記載したほうがいいと考えた。

亀谷会長：とても至極な意見感謝する。シート6の意見欄にはもう少し全体的なことをざっと総論的に考えて記載したいと思う。

他に意見はあるか？

山木委員：ビオラ宮崎で、以前防災イベントに参加した時に民生委員やケアマネージャー、包括職員、住民の方と結構な人数が集まってどう連携したらいいかというような話し合いをした記憶がある。恐らくビオラ宮崎ではそこに力を入れており今後災害時どうしていくか、誰が弁当を届けに行くのかといった具体的な話し合いもしたので防災への取組を1番に入れたのかと考えた。

亀谷会長：実際に取り組んだ政策によって、多職種の人と深く話し合いができたという文言も意見として追加できるのではないかと考える。

貴重な意見感謝する。他に意見はあるか？

意見がないようなので、議題1の（イ）センター取組状況に関する意見についてはこれで終了とする。

次に、その他として事務局から何かあるか？

堀課長補佐：2点ある。

まず1つ目が、今日の会議もだが今年度においては、地域包括支援センターの職員に出席の依頼等をしていなかった。第2回目の運営協議会は1年間の活動報告ということで次年度については、すべての包括が参加というのは難しいかもしれないが、代表包括に出席いただいて意見交換するような形を取ってはどうかと考えている。

2つ目は、会議の方式について。今年度やここ数年は、オンラインを中心に会議を開催。このままの形で次年度も継続してよいか。

それとも対面の会議がよいとの意見があるのか確認したい。

亀谷会長：提案感謝する。まず1つ目について、運営協議会に地域包括支援センターに出席いただくのはどうか。事務局も、シートをまとめたうえで読み上げているが、実際は当事者がいないと伝わらない部分があると考えられる。そのため提案があったように、地域包括支援センターの代表者に出席いただき、意見交換をすることがいいのか伺いたい。

鈴木委員：地域包括支援センター職員が参加し、委員と顔を合わせたらどうかという意見だが数年前はこの形で開催していた。地域包括支援センター職員が出席することで委員とのやり取りが生まれ、意見が言いやすかったため是非その方式を取っていただきたい。

亀谷会長：事務局はいかがか。

山田課長：代表として数名に依頼するか、7包括全体に依頼するか、地域包括支援センターの状況や意見を連絡会等通じて確認してから検討していきたい。
基本的には意見いただいたように、地域包括支援センターに出席いただく方向性で話を進めてまいりたいと思う。進捗については、また事務局から報告させていただく。

亀谷会長：それでは地域包括支援センター職員に出席いただくほうが意見を言いやすいとのことで、その方式を進めていく。
次に2つ目、会議の形式はどうか。現在ハイブリッド型として各委員 Zoom にて出席いただいているが、今回音声伝わらないというトラブルも生じた。これについては事前にテストをすればよい話かもしれないが、直接出席する方が良いとの意見はあるか？意見がないようならばこの方式で問題ないか？直接現場にお越しいただくのも大変ならば現在の方式でも良いか？良いとのことであれば各委員、手を上げていただきたい。

(挙手多数)

亀谷会長：各委員より手が上がったため、次年度についても現在のハイブリッド型で会議を開催したいと思う。
議事の方は以上になる。各委員及び事務局の意見感謝する。それでは事務局に進行を返す。

山田課長：亀谷会長ありがとうございました。各委員におかれましても本日貴重なご意見をいただき誠にありがとうございます。途中、音声の不備があったため通信テスト等を今後取り入れて制度を高めていきたいと考える。
それでは令和7年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会を終了する。
令和8年度運営協議会について、第1回目は令和8年9月18日(木)の14時から、第2回目は令和9年3月4日(木)の14時からを予定している。
会場の確保等あるため一旦この予定で進めていきたいと考えているため各委員は予定に入れておいていただきたい。また直前に、開催のご案内や通知をさせていただくためよろしくようお願い申し上げます。
それでは、これをもって令和7年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会を閉会する。

【次回の開催日程】

令和8年度第1回宮前区地域包括支援センター運営協議会

日時：令和8年9月18日(木) 14時～ オンライン開催予定

令和8年度第2回宮前区地域包括支援センター運営協議会

日時：令和9年3月4日(木) 14時～ オンライン開催予定